



福岡医発第2397号(地)
令和6年12月6日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 蓮澤 浩明
(公 印 省 略)

令和6年度かかりつけ医心の健康対応力向上研修
(ハイブリッド形式) の開催について

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

うつ病の初期症状の患者は、精神科ではなく内科等の一般科医を最初に受診する傾向があるため、かかりつけの一般科医を対象に、うつ病等の精神疾患の診断・治療技術の向上を図ることを目的として、標記研修会を別紙のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。詳細については、別紙1「開催要領」をご参照ください。

また、本研修は2日間の研修となり、全てのカリキュラムを修了された場合には、福岡県知事より「修了証書」が交付されます。

つきましては、多数の先生方にご参加いただきたく存じますので、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、

- 1) いずれか1日のみの参加も可能ですが、その場合には、「修了証書」及び応用研修1単位の取得ができませんのでご注意ください。
- 2) 本研修会は、以下2種類の単位を取得できます。
 - ・ **日医かかりつけ医機能研修制度応用研修1単位**
2日間の全てのカリキュラムを修了された場合にのみ取得可能です。
 - ・ **日医生涯教育講座4単位**
「向精神薬長期処方に関する研修」に係る単位として、令和7年1月23日、2月4日ともに、各日2単位(CC20「不眠」、CC69「不安」)が取得可能です。

小郡三井医師会より

精神保健担当理事 柳 大三郎
会長 島田昇二郎

**令和6年度
かかりつけ医心の健康対応力向上研修（ハイブリッド開催）**

1. 開 会

2. 挨拶

3. 講 義

【1日目】令和7年1月23日（木）

1) 「**基礎**」編 19:00～20:00 (CC20「不眠」1単位)

講師：福岡大学医学部精神医学教室
助教 林 礼雄 先生

2) 「**診断・治療**」編 20:00～21:00 (CC69「不安」1単位)

講師：福岡大学医学部精神医学教室
助教 畑中 聡仁 先生

【2日目】令和7年2月4日（火）

1) 「**連携**」編 19:00～20:00 (CC69「不安」1単位)

講師：久留米大学医学部神経精神医学講座
助教 増本 政也 先生

2) 「**実践**」編 20:00～21:00 (CC20「不眠」1単位)

講師：久留米大学医学部神経精神医学講座
講師 中村 倫之 先生

4. 閉 会

※会場で受講される方のみ、こちらの用紙を使用して下さい。

令和6年度かかりつけ医心の健康対応力向上研修（ハイブリッド形式）

【会場参加者 申込用紙】

△ところ 福岡県医師会館5階ホール（福岡市博多区博多駅南2-9-30）

1. 参加日： 令和7年1月23日（木）・2月4日（火）

※両日参加の場合は、両日とも○をお願いします。

2. フリ ガナ
氏 名： _____

3. 生年月日： _____

4. 所属機関先： _____

5. 職種：（医師・看護師・その他（_____））

6. 医師の方のみお答え下さい。

ア・医師会会員（所属医師会：_____）

イ・医師会非会員

医籍登録番号： _____

7. 住所※（ご記入いただいた住所に修了証書を送付いたします。）

〒 _____

かかりつけ医心の健康対応力向上研修 開催要綱

1. 開催日時：令和7年1月23日（木） 19：00～21：00
令和7年2月 4日（火） 19：00～21：00
2. 開催形式：①会場参加＋②WEB参加のハイブリッド形式で開催する。
①会場：福岡県医師会館5階大ホール（福岡市博多区博多駅南2-9-30）
②ZOOM ウェビナーによるWEB配信
3. プログラム：別紙のとおり
4. 対象者：医師
5. 申込方法：令和7年1月16日（木）〆切

【①会場参加】

- ・会場参加者申込用紙により福岡県医師会宛にFAX（092-411-6858）にてお申込み

【②Web参加】

- ・URL（https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_exMthLw6TYellSLXvezKdA）より申込み



6. 資料：当日の資料を開催の1週間前頃に、下記の本会ホームページに掲載いたしますので、各自ダウンロードしていただきますようお願いいたします。

福岡県医師会ホームページ＞お知らせ＞令和6年度かかりつけ医心の健康対応力向上研修

7. 取得単位：・日医生涯教育講座2単位（2日間で合計4単位取得可能）
令和7年1月23日（木）：2単位（CC：20「不眠」・69「不安」）
令和7年2月 4日（火）：2単位（CC：20「不眠」・69「不安」）
・日医かかりつけ医機能研修制度応用研修1単位
（※2日間の全てのカリキュラム受講された場合にのみ取得可能）
8. 修了証書：2日間、受講いただいた方に対しては、本会より直接、福岡県知事名の修了証書を郵送いたします。

※いずれか1日のみの参加も可能ですが、その場合には、「修了証書」及び応用研修1単位の取得ができませんのでご注意ください。

向精神薬長期処方に係る研修修了について

1. 本研修会に参加されると、1日の受講で日本医師会生涯教育講座2単位（CC：20「不眠」・69「不安」各1単位）が取得でき、全国医師会研修管理システム（生涯教育制度）に登録されるとともに、1日目、2日目ともに本研修の受講証明書を配布いたします。（医師のみ）

2. 本研修2日間のうち、いずれか1日のみの受講で標記研修の要件を満たすことになります。（両日受講いただく必要はありません。）

※福岡県知事よりの「かかりつけ医心の健康対応力向上研修 修了証書」及び「日本医師会かかりつけ医機能研修（応用研修1単位）」には2日間ともの受講が必要です。

3. 届出は不要ですが、指導等に備えて下記のいずれかを保管してください。

①後日送付する本研修の受講証明書

②日本医師会生涯教育講座のどのカリキュラムコードを取得したかが分かるもの

※所属の各郡市医師会若しくは福岡県医師会に照会いただければ、「生涯教育講座 受講証明書」を発行いたします。

※全国医師会研修管理システム（生涯教育制度）への登録には時間を要する場合があります。

参考1 【令和6年6月版 医科点数表の解釈 647p】

(1)「2」（＝向精神薬多剤投与以外の内服薬多剤投与／処方料29点）において、「不安若しくは不眠の症状を有する患者に対して1年以上継続して別に厚生労働大臣が定める薬剤の投薬を行った場合（以下「向精神薬長期処方」という）」とは、薬効分類上の抗不安剤、催眠鎮静剤、精神神経用剤又はその他の中枢神経系用薬のいずれかに該当する医薬品のうち、ベンゾジアゼピン受容体作動薬を1年以上にわたって、同一の成分を同一の1日当たり用量で連続して処方している場合をいう。なお、定期処方と屯服間の変更については、同一の1日当たり用量には該当しない。また、以下のいずれかに該当する医師が行った処方又は当該処方の直近1年以内に精神科の医師からの助言を得て行っている処方については、向精神薬長期処方に該当せず、「3」（＝処方料42点）を算定すること。

ア 不安又は不眠に係る適切な研修を修了した医師であること。

イ 精神科薬物療法に係る適切な研修を修了した医師であること。

参考2 【疑義解釈その1 問171】 H30.3.30

不安若しくは不眠の症状を有する患者に対して1年以上継続してベンゾジアゼピン受容体作動薬の投薬を行った場合に算定する処方料・処方箋料について、「不安又は不眠に係る適切な研修」及び「精神科薬物療法に係る適切な研修」とはそれぞれ何を指すのか。

（答）「不安又は不眠に係る適切な研修」については、現時点で日本医師会の生涯教育制度における研修（「日医eラーニング」を含む。）において、カリキュラムコード69「不安」又はカリキュラムコード20「不眠」を満たす研修であって、プライマリケアの提供に必要な内容含むものを2単位以上取得した場合をいう。

「精神科薬物療法に係る適切な研修」については、現時点で日本精神神経学会又は日本精神科病院協会が主催する精神科薬物療法に関する研修をいう。ただし、精神科の臨床経験5年以上を有する状態で受講した場合のみ該当すること。